

# 平成26年度 第1回北海道代協組織委員会 議事録

日 時／平成26年4月18日（金）14:00～17:00

会 場／代協事務所

出席者／伊藤委員長（札幌）・寺田副会長（旭川）・川口（札幌）・高橋（室蘭）  
若林（苫小牧）・岩間（函館）・阿部（釧路）・深井（帯広）・山口（札幌）

欠席者／星（旭川）・稲垣（小樽）・玉山（千歳）

## 【議事】

1. 出席者・資料の確認

2. 委員長挨拶

1年間組織委員会活動にご協力ありがとうございました。2年間やってきましたが、平成24年度の新規会員59店の増加。平成25年度31店。2年通算して90店の増加と全国的にみても素晴らしい結果だった。国民年金基金も一昨年に7年ぶり1名加入となりました。

3. 日本代協組織委員長挨拶

平成25年度を通して17店の純増は全国トップの成果で、2位の福岡は16店と1店差で競り勝った。皆さんの努力の結果だと思う。

4. 担当副会長挨拶

この2年間各支部ほとんど減っているところがない。皆さんの努力の結果です。合併や退会者もあると思いますが、引き続き今後も組織委員の活動をよろしく願います。

5. 議事録作成者指名／若林 徹

## 【報告事項】

1. 入会報告・退会報告

- ・ 函館が目標を達成
- ・ 連れてき隊は行事毎に集まる等必要だった。

2. 国民年金基金報告

- ・ 新規加入者は0だった。
- ・ 会員への代協国民年金基金の歴史や制度の理解が必要。

## 【審議事項】

1. 平成25年度総括（議事録の確認）

1 会員増強

委員長－600店に向けて頑張った。541店からスタートし、558店で終わった。連れてき隊が一昨年よりうまく機能しなかった。

札幌－節目節目で気合を入れる事が足りなかった。退会数4店は歯止めがかかった。171店は過去最高数。

室 蘭－狙ったところが加入した。企業代理店も狙い。

旭 川－幹事会の時に必ず会員増強を話題に出している。旭川は100店を目標にやっている。

苫小牧－苫小牧はNKSJの代理店が会員や幹事の半数以上を占めているので、他の代申会社の代理店の協力とバランスを考えた人選も重要。

函 館－電話帳でリストアップしてやってみたが結果はでませんでした。

連れてき隊の活動で目標を達成できた。今後は保険会社に協力を依頼する等取組みたい。

帯 広－4店やりますと言ったができなかった。組織委員だけでなく、全体の課題にしないといけない。帯広は組織率が低いので、問題だと思う。

## 2 国民年金基金

委員長－北海道代協の目標は4件だったが0だった。代協として制度維持のために必要な場を設ける等制度の理解を深める努力が大切。

旭 川－もっと議論の時間を持たないと各支部に伝わっていかない。代協会員でなくても対象となるので、総力をあげる必要がある。

室 蘭－制度の根っこからの部分を知らない、伝わらないと思う。

## 2. 平成26年度事業計画について

### ① 会員増強

- ・目標600店（平成26年3月末実績558店）

◎今年度は新規加入数を目標とする。

札幌35店、室蘭3店、旭川10店、小樽1店、苫小牧2店、千歳1店、函館2店、釧路5店、帯広6店、合計65店

- ・合併代理店、使用人の一般会員登録の促進

### ② 会の活性化

- ・支部エリアの見直し
- ・各行事、イベントの参加率アップ（グリップ力の向上）
- ・新役員の積極的登用（多選防止、入替の努力）
- ・新入会員オリエンテーションの実施推進

### ③ 国民年金基金の加入促進

- ・制度の理解を深め、優位性と維持の必要性を情宣

### ④ 新年交礼会の開催

- ・札幌支部が準備実行の中心とする
- ・開催は毎年1月第3金曜日とする（平成27年1月16日）

## 3. その他

- ・札幌支部の川口さんを今年度の日本代協組織委員、北海道代協組織委員長として理事会に推薦する。